

中医学漢方・鍼灸

がんの考え方と対応法

新宿漢方クリニック 鐘 良辰

女優の小林麻央さん（34歳）や沖縄県知事の翁長雄志さん（67歳）がそれぞれ乳がんや膵がんで亡くなりました。有名人がニュースで報道される度にがんは大きな注目を集めます。しかしがんは年々増え続け、実はもはや珍しくありません。がんは髪の毛と爪以外、全身に発生します。原因が分からず見つかった時は既に転移のあるいわゆるステージ4の重篤な状態も少なくありません。

2013年に新たに診断されたがんの全国推計値は86万人、2014年は88万人でした。そして同年36万人がガン死し、2015年には37万人となりました（国立がんセンター）。

肺癌が首位で大腸がん、胃がん、膵がん、肝がん、乳がんと続きます。がんの三大治療法（手術、放射線照射、抗がん剤）は、今や治療として不十分であるとみなされます。それは末期ガン患者の痛み・不安などが悪化し家族の困惑を解いてくれないからです。

がん発生に関する詳細は不明ですが、生活習慣が深く関与するといわれます。西洋医学は、免疫力の低下ががん細胞の芽を摘むことが出来ずがんの発症に至ると説明します。中医学は体の冷え・血流障害・ストレスなどの気滞が、がんを誘発するとみなします。ある臓器にがんが見つかったとしても、中医学は全身病気の部分症と認識します。そのため、治療はがん細胞を攻撃するより補気補血という方法で体質改善を重視します。

中医学の特徴は、がんの外科的切除、放射線治療、化学療法などに起因する副作用症状（特に痛み、シビレ、脱毛、胃腸障害、疲労、不眠、不安など）をよく緩和し副作用の治癒を目指します。私たちは、漢方生薬と鍼灸治療を縦横に組み合わせ、末期がん患者の多彩な苦痛にたいし緩和治療を施しケアの充実を期待します。まず本人の深刻な体調をしっかり受け止め弁証論治を組み立て、個人用オーダーメイドの体質改善策を処方します。

生薬で冷えをなくし体調を整えて気血を充実させることが第一選択肢です。同時に胃腸機能を活性化し食欲と睡眠がしっかりとれる生薬を組み合わせます。必要に応じ痛みやシビレを和らげる生薬種を選択します。漢方には、面白いことに腫瘍の細胞増殖を抑制する特別の生薬もあります。さらに冬虫夏草においては、その主成分コルジセピンがDNAアデニンを置換し二重らせん構造再生の阻止、つまり細胞分裂抑止に寄与することが証明されています。

鍼治療としては足三里、気海、血海のツボを刺して食欲を誘発します。中脘、臍中、外関の任脈活性化を図れば、正に三焦鍼法となります。それによりメンタルバランスを同時に整えることもでき、うつ傾向の患者に大いに役立ちます。痛み、シビレの改善は鍼のお手のもので、腹部や足などの灸は全身を温める効果が大きいことでよく知られています。

漢方エキス剤の処方については、まず補気補血の十全大補湯を基本にします。十全とは四物湯と四君子湯に黄耆と桂皮を加えた 10 個の生薬のエキス顆粒剤です。これで疲れ、食欲不振、めまい、顔色の改善が認められます。副作用がほとんどないので虚証（基本的にはがんの患者）を改善するための長期戦略の基本となります。

胃腸障害が目立ち食欲不振、下痢などの症状には補中益気湯を採用します。のどの渇き空咳、息切れには麦門冬湯を、腰痛、体の冷え、ムクミ、頻尿などは牛車腎気丸で、さらに全身関節の痛み、手足のシビレなどには疎経活血湯がお勧めです。

漢方生薬である人参、キノコ類霊芝、茯苓、麦門冬、地黄、当帰、蒼朮などは、虚証を補う薬として重要です。がん細胞の増殖を抑えるには半枝蓮、白花蛇舌草、蒲公英根を配合するとよい。体を温める食事療法には生姜、ネギ、南瓜、肉類などの食材を多めにとること、体を冷やすビール、刺身、アイスクリーム、カニ、青野菜などは断つか控えめにすべきです。そして薬膳粥、足湯などで直接体を温める策をとるのがベストです。

まとめ

がんの西洋医学的三大治療（手術、放射線、化学療法）の手術は早期がんを完全に摘除できます。それ以外の進行がんは、どの方法で治療しても必ず副作用を伴います。痛み・シビレ・脱毛・食欲不振・吐き気・嘔吐・不眠・疲労感・ムクミ・うつ・イライラ・不安など多彩な症状で悩まされます。

担当医は、自分の治療マニュアルが終了すればそれで **duty free** であとは無関心です。近年誕生した緩和治療科もあくまでも西洋医学的技術の応用に限定されます。そして、技術的に容易で実効性の高い鍼灸治療や、体に優しい自然の生薬応用に目を向けない医療の現状は、偏見に基づいており、患者さんにとり悲劇的ですからあると思われま

す。最先端医療は頼もしい。しかし応用できる対象者は限られます。身近の家庭医にとり、患者さんの免疫力低下を抑え、逆にアップを図ることが出来るのが漢方と鍼灸です。扶正（五臓六腑の元気をつける）を施し、抗がん薬草（半枝蓮、白花蛇舌草、蒲公英根、板藍根、人参）、抗がんサプリ（冬虫夏草、霊芝、牛黄）も有効です。全てを利用し体質改善と緩和ケア、メンタル面の補強により、患者さんの **QOL** を維持してあげることが大切です。